

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010100

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】 栄町～改良舗装L=110m、W=6.0m 22,700千円
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	A		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	梅小路道路整備事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成28年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	道路整備延長		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	149m		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	○道路整備 【平成27年度】 用地確定調査・用地買収A=20㎡ 【平成28年度】 幸町～道路改良L=115m、W=6.0m 道路舗装L=149m、W=6.0m 【平成30年度】 栄町～改良舗装L=110m、W=6.0m			用地確定調査・用地買収A=20㎡	道路整備(幸町) 道路改良L=115m、W=6.0m 道路舗装L=149m、W=6.0m	
	事業費(千円)	26,200	0	0	1,200	25,000
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	25,000				25,000
	その他	0				0
実績事業費	事業費(千円)	24,570	0	0	1,080	23,490
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	23,400				23,400
	その他	0				0
関連事項	特定財源の名称 ・地方債(過疎)100% 【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 用地確定調査 A= 7.58㎡ 用地買収 A= 7.58㎡	(実施内容等) 道路改良L=115m、W=6.0m 道路舗装L=149m、W=6.0m	(実施内容等)
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値		用地確定調査A=7.58㎡・用地買収A=7.58㎡	149m	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	90%	94%	#DIV/0!
		全体達成率	0%	4%	94%	94%
		備考欄				

事業名	梅小路道路整備事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	田原慎也
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	道路整備延長		
【抱える課題やニーズは】	砂利道の道路環境の向上		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	快適で安全な通行の確保		① 道路整備延長/道路整備延長	目標年度	平成28年度
				目標値	149 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の快適な道路環境の確保	②	実績値	149 m	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し改良舗装を実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の交通の利便性の向上を図るため町道の行き止まりの解消を行うべく事業を進めることは町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、地域の交通の利便性の向上が図られたことは、有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業を実施したことで、地域の交通の利便性の向上が図られたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	交通の利便性の確保が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して利用できることになったことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成28年度事業終了		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止